安心·安全の 県政を目指して 「防災アプリ」普及方針の是正を! 「県営住宅」整備・建て替えを!!

まさい 現地 / ト・ はなく、大勢の県民のではなく、大勢の県民のではなく、大勢の県民のではなく、大勢の県民のの ではなく、大勢の県民職員に対し「特定の誰今年の仕事始めで、

金田もとる県議

地域の実情をしっかり見話を聞き、自分の目で、 自分の目で、現地へ赴き、

べき言葉だとして、質問・お知事。金田県議は、知いかすように」と訓示して、施策の立案や実行に

県民誰もが使える 「防災アプリ」に

■復興危機管理部長 ようにすべきだ。

て、県民に理解いただけの特徴や利便性について、各種機能を運動じて、各種機能を運動でで、各種機能を運力が大きな特徴。

今年度の3度の が 運 で 転

いきたい。

すべき。他県では、運転は、一カードを持たない人もでえるようなシステムとを振り向けてマイナンバーカードを持たない人もを振り向けてマイナンバーカードを持たない人もり、アーカードを持たない。アリの普及を進めるとしない。 **験を行っているところもかったシステムの実証実**かったシステムの実証実

県営住宅は「建て替え」を含めた 整備計画に

見込めるところもある

転を基本として、移転支 を を を の整った県営住宅への移 で で については、居住環境 で の整った県営住宅への移 の整った県営住宅への移 の整った県営住宅の新 すべきだ。 建て替えも考慮して対応 ックの余剰が増えて 進行に伴 が増えてい、住宅スの子高齢化

知

て今後も確実に入居者が であり、未来永劫建て を が行われている6団地 を が行われている6団地 を が行われている6団地 を が行われている6団地 を が行われている6団地 を が行われている6団地 を が行われている6団地



録画映像(オンデマンド)も視聴ください

https://miyagi-pref.stream.jfit.co.jp

①「地域医療提供体制の※他に ②地域と共生する「再エ ネ事業」 整備 について ついて「知事の政治姿勢」 (4病院問題) つ

県営住宅を「まちづくりと

暮らしの要」と位置付け

丁寧に対応して

応じて福祉部門と連携し情や希望を伺い、必要に援を進める。入居者の事 情や希望を伺い、援を進める。入口

金田県議

ている。今年10月に住宅るが、高齢者や要支援者が民間賃貸に入るには、が民間賃貸に入るには、が民間賃貸に入るには、民証人の問題も含めてハードルは相当に高くなって、供給戸数としては十て、供給戸数としては十

を はいます できだ。 まっにすべきだ。 はいらいっても、公営住宅がに、多様な需要に応える地域社会の要連携のもとに、多様な需要に応える地域社会の要として役割を発揮できる として役割を発揮できる まうにすべきだ。 まうにすべきだ。 して いく いっても、 公営住 おいらいっても、 公営住 おいらいっても、 公営住 おいらいっても、 公営住 というにすべきだ。

放射能汚染の拡散の防止に 責任を果たせ

金田

■環境生活部長 ているのではないか? 治体の責任が曖昧にされ 開」とされていることで、についての情報が「非公理事業者および処理施設に考えているのか? 処 県外処理」 国・環境省と県、 部の市町と進めてき 2023年から県が の責任についてどのよう 農林業系汚染廃棄物の部の市町と進めてきた につい

いる。情報提供している供して市町村が判断して基本的には県が情報提 我々にも一定の責任はあ ると思っている 基本的には県が

もと進めてきた。今回、担及びそれぞれの責任のき、国、自治体の役割分 当たり、実際に委託した県は事業者情報の提供に 染対処特措法等に基づ この

■知 事 ■知 事 ■知 事 ■知 事 ■知 事 いまま、環境モニタリンいまま、環境モニタリンいまま、環境モニタリンな射能汚染の危険性につれ処理されていること、 ら汚染廃棄物が持ち込周辺の住民は、宮城県 **周辺の住民は、** 県外搬出先、 処理施設

というのでは、 は、 は、 は、 でも、 は、 にもずっと保管されて をいるという状況に心を痛 がでもが、 はは国に、 がではない。 責任は国に、 がはではない。 責任はある。 指定廃棄物の がでも、 県は何もし はるという状況に心を痛 がるという状況に心を痛 がるという状況に心を痛 がるという状況に心を痛 がるという状況に心を痛 理解いただきたい。思いでやっていることをも早く処理をしたいとの 村にある。指定廃棄物のいては処理の責任は市町農林業系の廃棄物につ

発行:日本共産党宮城県会議員団 室) TEL 022(211)3523